

きらら通信

こちら校長室



令和2年度

令和2年6月26日
京都市立修学院小学校
校長 村山 雅彦
TEL: 075-781-4439

新しい生活様式の中で

6月1日より多くの方々の努力により授業を再開でき、分散登校を経て、今では第2波、第3波に備えながら、感染予防に万全を期しての通常登校ができるようになりました。しかしながら、昨年まであたり前のようにしていた学習や活動を、自己や周りの人の命を守るため、今は形を変えて実施しています。

このように思い通りに進めることができない誰も想像できなかった状況の中で、自分の感情をコントロールし、今できることに精一杯取り組んでいる修学院小学校の子どもたちの姿に、熱いものを感じます。この子たちなら将来どんな困難なこと出会いても、逞しくポジティブに共に手を携えて、それぞれの夢をきっと実現していくてくれるにちがいないと思わずにはいられません。

まだまだ長期に渡りそうです。引き続き新しい生活様式に、気を緩めず継続して安全・健康第一で取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましてはさらなるご理解、ご協力をいただきますよう何卒宜しくお願ひ致します。

第9回修学院学区夏祭り

中止となります

6月15日に修学院各種団体連絡会が開かれ、例年多くの方々が参加され、楽しみにされていた第9回修学院学区夏祭りは、新型コロナ感染症拡大防止のため、やむなく中止とすることが決まりました。ご理解いただきますようお願いいたします。

登下校の安全確保

本年度も、修学院学区安心安全委員会「子ども見守り隊」の皆様やPTAの皆様に子どもの登下校の見守りをしていただいています。大変お忙しい中、誠にありがとうございます。おかげさまで子どもたちは、安心して過ごさせていただいております。

また、皆様の指導により、多くの子どもたちが自分で正しく判断し、安全に気を付けて登下校することができます。さらには、「おはようございます。」と礼儀正しく挨拶のできる子どもも多いです。心と心のつながりを大切にしていることが感じられ大変嬉しくなります。防犯上、人と人が挨拶を交わすことは不審な行動に対する抑止力にもなると言います。子どもには自分もまわりの人も大切にし、自らの力で安心安全なまちづくりに参画しようとする気持ちを育んでいきたいと考えています。

KYT (危険予測トレーニング)

子どもたちを取り巻く社会には、多くの危険が潜んでいます。修学院小学校は安心で安全な学校をめざしており、授業の中で様々な状況の中に潜む危険性を予測し、対策や自己の行動目標を考え、実践することを進めています。先日、教職員研修を行い、授業で大切にすることや進め方のポイントを話し合いました。その中で、子どもが自分のこととして考える授業を作ることを確認しました。